

令和7年度の重点課題

①【情意面】

運動やスポーツをすることを肯定的に捉える児童が男子87%、女子78%であり、運動が好きだと回答する児童が少ない。体育の授業以外に30分以上運動をしていない児童の割合が20%を超えているため、学校外での運動習慣がついていない。

②【体力面】

男女6項目において県平均値かつ全国平均値を下回った。特に、敏捷性と持久力、動きを持続する力が身についていない。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

課題①に対して

【体育科の授業改善】

敏捷性を高めるために、各単元の主運動につながる準備運動としてACPを取り入れ、楽しく体を動かせる準備運動を継続して行った。持久力を高めるために、縄を使った運動の取り組みを行った。

課題②に対して

【体育科の授業改善】

達成感を味わうことのできる授業づくりに取り組んだ。

【主体的な外遊びの奨励】

休み時間を有効活用し、児童会主導で児童が主体的に外遊びを楽しめるように活動を企画した。

【家庭や地域の連携】

家庭でもできる運動遊びを紹介したり、地域で行われるスポーツ行事への参加を促したりすることで、豊かなスポーツライフを送れるよう学校外での運動を習慣づけられるようにした。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.65	16.46	30.27	38.51	35.73	9.68	144.29	16.49	47.05	第5学年	14.86	16.29	37.17	38.55	39.54	9.71	142.15	12.93	52.88

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.65	16.46	30.27	38.51	35.73	9.68	144.29	16.49	47.05	第5学年	14.86	16.29	37.17	38.55	39.54	9.71	142.15	12.93	52.88

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	55.00	32.50	12.50	0.00	第5学年	60.00	25.00	7.50	7.50

学校独自の意識調査

問	体育の授業は楽しいですか。					
	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない	計	
第1学年	56(93%)	2(3%)	2(3%)	0	60	
第2学年	63(84%)	11(15%)	0	1(1%)	75	
第3学年	53(82%)	9(14%)	2(3%)	1(1%)	65	
第4学年	54(73%)	16(22%)	4(5%)	0	74	
第5学年	40(53%)	28(37%)	5(6%)	3(4%)	76	
第6学年	53(58%)	25(27%)	8(9%)	6(6%)	92	
全校平均	319(70%)	93(21%)	21(5%)	11(24%)	452	

重点課題

情意面での課題

【男子】

運動やスポーツをすることを肯定的に捉える児童87%(前年度比 ±0%)
昨年度と比較すると、肯定的回答における「やや好き」の割合が多くなった。

【女子】

運動やスポーツをすることを肯定的に捉える児童85%(前年度比 +7%)
昨年度と比較すると、肯定的な回答は増えたが目標値には届いていない。

【総評】体育の学習に対して楽しいと取り組む児童が学年ごとに減少している。
体育の学習を通して体を動かすことに苦手意識を持つ児童がいる。

体力面での課題

【男子】

8項目すべてにおいて県平均値かつ全国平均値を下回っており、中でも「20mシャトルラン」で-12.2Pt、「ボール投げ」で-5Pt、「立ち幅とび」で-6.6Pt持久力、投擲力、跳躍力に課題がある。

【女子】

8項目のうち6項目において県平均値かつ全国平均値を下回っており、中でも「上体起こし」で-2.1Ptで、「ボール投げ」で-0.2Pt、「立ち幅とび」で-0.2Pt、持久力、投擲力、跳躍力に課題がある。

令和9年度の
重点目標値

- 運動やスポーツを肯定的に捉える児童の割合を男子90%以上、女子85%以上にする。
- 体育の授業が楽しいと回答する児童の割合を1～4年生95%以上、5,6年生90%以上にする。
- 「握力」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 「ボール投げ」を県平均値かつ全国平均値以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

【体育科の授業改善】

〈体力を高めるために〉

持久力を中心に総合的な体力を高めるために、縄を使った運動を行う。また、遊具を活用したACPを準備運動として取り入れることで、握力や持久力を中心に総合的な体力を身につけられる取組を行う。

〈体を動かすことを楽しむために〉

スモールステップで単元に必要な力が身につくようにすることで、児童がより達成感を感じられる授業づくりを行う。

体育の授業以外で行う取組内容

【主体的な外遊びの奨励】

休み時間を有効活用し、児童会や委員会活動が主導して児童が主体的に外遊びが行えるように活動を企画する。

【家庭や地域の連携】

家庭でもできる運動遊びを紹介したり、地域で行われるスポーツ行事への参加を促したりすることで、豊かなスポーツライフを送れるよう学校外での運動を習慣づけられるようにする。